



曾木の子

ホームページ <http://www5.synapse.ne.jp/es-so/>

学校便り No. 1

令和3年4月15日(木)発行
伊佐市立 曾木小学校
TEL:25-1152 FAX:25-1162
伊佐市 大口曾木1753番地



～基礎学力とは何か～

校長 山田 俊也



新年度が始まりました。錦江町立神川小学校から曾木小学校に赴任してから、約2週間がたちました。

曾木小の子どもたちの第一印象は、「あいさつが礼儀正しく、自然体で大変よい」というところです。よく元気な声で、大きな声でと言われますが、この礼儀正しさと自然体が大切だと思います。

ところで、「基礎学力がしっかりと身に付いている、身に付いてない」という言葉をよく聞かれますが、そもそも学力とは一体何なのか。私が今まで学んできた中で、最も分かりやすい説明が次のものです。

算数・数学における基礎学力とは「学校及び社会において事象を数理的に処理するのに不可欠で、しかも、新しいことに対処できるような発展性を包含している。ただし、児童の発達段階からみて、学校教育において指導・学習が可能であって、しかも、学校教育における方が効果的に習得される」教育内容である。(佐伯胖)

ん？それでも分かりにくい・・・。

- 1 学力は、計画的な学習を進めた結果として形成されるもの
- 2 形成されたものは、発展していく可能性があり、主体的な実行に結びつくもの

かけ算九九を学習して、基礎学力が身に付いたかどうかは、ブロックを操作させると一目瞭然です。例えば、「 2×3 になるようにブロックを並べなさい」と指示すると、..

1 □□ □□□
 2 □□×□□□
 3 □□ □□□ → 2×3 という形を作る
 □□ □□



以上の3つをほとんどの児童が作りますが、正解は・・・

□□ □□ □□

となります。



なぜこのようなことが起きるのか、「九九を唱えることができる、または、かけ算ができる」ということと、「かけ算及び九九について基礎学力を身に付けている」ということは異なるものです。

御家庭でも是非、「部屋の中に 3×2 で計算できるものは何かがあるか？」など主体的な実行に結びついていくような家庭学習へのアドバイスをお願いします。